

## SCHOOL DATA

〒266-0032 千葉県緑区おゆみ野中央1-26  
 TEL 043-293-2700 FAX 043-293-2702  
 ■児童数/632人 ■教職員数/42人 ■周辺環境/住宅地



(平成21年5月1日現在)



【児童による整備作業のようす】



【休み時間には多くの児童が集う場所】

### ビオトープの概要

- 場所/学校敷地内
- 面積/160㎡
- 設置者/学校
- 設置した年/2003年
- 直近の改修年/2009年
- 主な管理者/教職員、ビオトープ委員会

#### [生息している動物]

スズメ、ムクドリ、ハト、メジロ、シジュウカラ、ハクセキレイ、カマキリ、コオロギ、バッタ、モンシロチョウ、クロアゲハ、アキアカネ、シオカラトンボ、ギンヤンマ、イトトンボ、ミツバチ、ナナホシテントウ、カナヘビ、カタツムリ、アマガエル、ミミズ、ダンゴムシ、タニシ等

#### [生育している植物]

サクラ、ネムノキ、キョウチクトウ、コナラ、クヌギ、クワ、ホオノキ、ケヤキ、ヤマボウシ、ゴズイ、コブシ、イヌシデ、エノキ、エゴノキ、ススキ、ヨシ、イネ、セリ、ミゾソバ、ジュズダマ、オオバコ、セイヨウタンポポ、ヨモギ等

#### [今後生息・生育させたい生物]

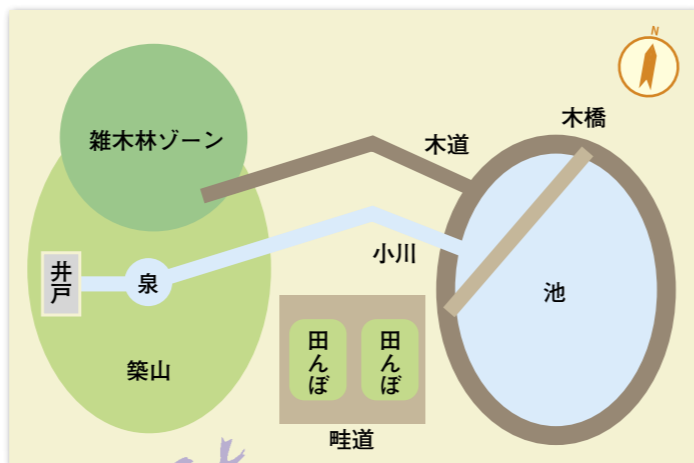
メダカ、ドジョウ、カワニナ、ホタル、ガマ、タコノアシ、アサザ、マコモ、トンボの仲間等

#### 【コンセプト】

本校は開校13年目、おゆみ野地区として都市再生機構が開発した新興住宅街の中にある学校である。おゆみ野地区は、昔、谷津田が連なる里山であった。谷津の奥深くまで水田が開かれていたことから「扇田小学校」と命名された。

扇田小学校のビオトープづくりは、理科や総合的な学習の時間を通して、「生き物と共存した環境をつくりたい」という子どもたちの願いから始まった。その願いを実現しようと教職員・保護者・地域の方たちが協力し合ってビオトープはつくられた。

子どもたちが、ビオトープで遊んだり活動したりすることを通して、人間と自然との関係、人間と他の生き物との関係など自分とのつながりについて思いをよせ「共に生きる」という気持ちを育てていく場として活用している。



【整備作業のようす】



【観察会のようす】

### ビオトープの活用方法

#### ■児童・生徒

- ・1年生・2年生は、生活科の学習等で活用している。
- ・3年生から6年生は、理科や総合的な学習の時間等で活用している。
- ・委員会活動の一環として、ビオトープ委員会の活動をしている。
- ・休み時間に子どもたちが自然に親しみ、子どもたちどうしが遊んだり、ふれあったりする場として活用している。

#### ■保護者・地域住民

- ・授業参観日等に、ビオトープの観察会を行っている。
- ・保護者・地域の方に、土曜日の午後、地域開放の時間を作り自由にビオトープを見ていただく機会を設けている。

### ビオトープの効果

#### ■児童への効果

- ・生活科や理科、総合的な学習の時間の中で、ビオトープを活用することで生物や環境についての理解が深まっている。
- ・ビオトープに生息する生き物にふれることで、心やさしい豊かな気持ちが育ち、生命尊重の意識が育つようになる。
- ・子どもたちが、休み時間にビオトープで遊ぶ活動を通して、人間関係が深まりお互いに仲良くなることことができる。

#### ■教職員への効果

- ・生活科、理科、総合的な学習の時間等の教材として、効果的に活用することができる。

#### ■保護者・地域住民への効果

- ・おゆみ野地区開発前の里山風景をビオトープの中に再現することで、保護者や地域住民の憩いの場とすることができる。

### 保護者、地域との連携

#### ■保護者

- ・ビオトープ作成段階で、保護者の方たちの協力を得て、小川・田んぼ・沼・木道等の整備を行った。
- ・親子除草作業の際に、ビオトープの除草作業に協力していただいた。

#### ■自治会、町会

- ・昔から地域に住んでいて地域の自然に詳しい方に、扇田小の昔の様子について話をさせていただく。

### 整備・活用・管理等の課題

- ・ビオトープの小川と沼周辺にある木道の腐食がひどく、改修の必要があったが、今年度全面改修をすることで、子どもたちが安全にすごすことができる場となる。
- ・井戸水で水を補給し循環装置で小川の水を循環させる仕組みになっているが、排水路からの水漏れや循環装置にゴミが詰まるとうまく水が循環しないことがある。
- ・全学年で教科等の中で、ビオトープの活用を図る単元開発を続けていきたい。

### 今後の展望

- ・ビオトープを各教科等の学習に幅広く活用していくことで、子どもたちへ自然の素晴らしさや環境の大切さを伝えていく場としたい。
- ・子どもたちが、休み時間に自然に親しみ伸び伸びとすごせる場にしていきたい。
- ・子どもたちが、主体的に目的を持った「ビオトープ委員会」の活動をさらに進めていきたい。
- ・保護者や地域の方が参加できる観察会等をさらに充実させていきたい。

### 整備担当者(教員、児童、保護者等)から

ビオトープの木道を改修するにあたって、現在の景観を残しつつ木道を少し減らしてあぜ道にすることで管理がしやすくなるようにした。また、他にも木道部分の管理がしやすいように、工夫しながら改修を進めていくようにしたい。



【校庭の身近な生きものを探す児童】